

あつま

生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話 27-2495

主な記事

- ・平成30年度厚真町成人式
- ・スケートリンク開設日程
- ・10月定例教育委員会
- ・チャリティ演芸大会について
- ・社会教育施設の年末年始の予定
- ・図書室だより
- ・放課後子ども教室活動紹介

平成30年度厚真町成人式

平成30年度の厚真町成人式は、37人が対象となっています。日時、会場等は次のとおりです。

◆とき

平成31年1月13日【日】 午前11時から

◆ところ

厚真町総合福祉センター

◆対象者

平成10年4月2日から平成11年4月1日の間に出生し、本町に住民票を置いている方及び本人が町外へ転出している、保護者等が本町に在住している方。

◆案内状の発送・出欠について

対象となる方には、11月中旬にご自宅(ご家族)宛に案内状を送付しております。出欠は案内状に同封の返信用はがきに記入のうえ、12月12日【水】までに返送ください。

本人が町内に不在の場合は、ご家族の方が本人と連絡をとっていただき、返送をお願いします。

対象となっている方で、案内状の届いていない方は下記宛にご連絡ください。

◆問合せ

教育委員会 社会教育グループ
☎27-2495



スケートリンクのオープンについて

毎年ご利用いただいております町民スケートリンクは、来月オープンの予定です。今年も多くの皆様のご利用をお待ちしております。

◆利用期間

平成30年12月下旬から
平成31年2月28日【木】まで

◆利用時間

午前9時から午後8時

※12月31日は

午前9時～正午まで

※1月1・2・3日は

午後1時～午後4時まで

※天候や気温等により利用期間が変更になる場合があります。

※利用時間内に除雪・散水等の作業を行う場合があります。その際は、滑走を中止し、作業にご協力をお願いします。

◆問合せ

教育委員会 社会教育グループ
☎27-3775(スポーツセンター)



10月定例教育委員会

10月30日に開催された定例教育委員会の会議内容についてお知らせします。

◆報告事項

平成31年度教職員当初人事、第4回厚真町議会臨時会(行政報告、財産の取得、補正予算等)、学校給食センターの再開、震災に伴う各団体等からの学校への支援物資、2中学校へオリンピック選手の訪問、10月の校長会議・教頭会議、震災に伴い中止した社会教育事業、青少年センター・厚南会館図書室の再開、週末こどもひろばの開催等について

◆その他

平成30年度教育委員と小中学校PTA役員保護者との懇談会の実施について

◆問合せ

教育委員会学校教育グループ
☎27-2494

チャリティ演芸大会中止のお知らせ

厚真町婦人団体協議会主催で例年開催している「歳末助け合いチャリティ演芸大会」は北海道胆振東部地震の影響により、今年度は開催中止となりましたのでお知らせします。

楽しみにしていただいていた皆様には大変申し訳ありませんが、何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

年末年始の予定について

◆青少年センター・創作館

12月29日【土】～1月6日【日】休館

◆スポーツセンター・スタードーム

現在災害対応により一部利用を制限させていただきます。一般利用再開については決定次第お知らせします。なお、年内に再開した場合、12月31日【月】～1月5日【土】は休館となります。

図書室だより

青少年センター図書室

TEL 27-2495 (平日)

支え合いつながっている図書室

10月から再開した図書室ですが、複数の利用者の方に「図書室の復旧作業のお手伝いをしたかった」とのうれしい言葉をいただきました。震災後は、建物の安全確保が不十分だったため、関係者以外立ち入り禁止としておりました。ご自身の家も被害を受けたにも関わらず、図書室のことを気にかけていただいたことに、心より感謝申し上げます。

北海道立図書館をはじめ、近隣図書館からも「手伝えることがあったら」と支援の声をいただいたり、図書館業者の方たちからは壊れてしまったパソコンの代替機、作業に使うブックトラックなどを貸していただいたりしました。沢山の方々の援助のおかげで復旧作業をより早く進めることができました。また、避難所への配本を新聞各社に取り上げていただいたことで、その記事をご覧になった道内外の方から図書室や避難所で使用してほしいとの本の寄贈や、読み聞かせイベントをしたいとお声がけなど多くの反響がありました。

先日、岡山県真備町から厚真町に支援物資と応援のメッセージが届きました。真備町は7月にあった洪水で町内のほとんどが浸水被害を受け、中でも真備図書館の蔵書の大部分が水没したとのことです。図書館の中から水に濡れカビが生えてしまった資料を運び出す方の気持ちは、同じ図書館業務に携わる者として察するに余りあるものがあります。

この2か月で皆さんから頂いた励ましや応援を他の被災地にもどんな形でもいいのでつなげていくことができたらと考えています。



←貸していただいたブックトラック



←地震により破損してしまったパソコンの代替機

青少年センターからのお知らせ ～12月の予定～

★プラネタリウム★

●投影日時

- ・毎週火曜日 午後3時30分～
- ・毎週土曜日 午後1時30分～

※29日(土)、1月5日(土)は年末年始のため休館いたしますので、プラネタリウムの放映はありません。

●投影内容

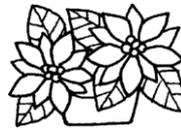
- 1 初冬の星座解説
- 2 地球と月の誕生

問合せ：

教育委員会社会教育グループ ☎ 27-2495



新着図書紹介



ここで紹介した以外にも新着図書がありますので、ぜひ図書室までお越しください。

文芸書

- ・ある男 平野啓一郎／著
- ・男たちの船出 伊東 潤／著
- ・凜の弦音 我孫子武丸／著
- ・14歳の明日の時間割 鈴木るりか／著
- ・どんまい 重松 清／著
- ・国宝 上・下巻 吉田修一／著
- ・冷たい檻 伊岡 瞬／著
- ・ウェディングプランナー 五十嵐貴久／著
- ・すぐ死ぬんだから 内館牧子／著
- ・永遠のマフラー 作家生活50周年記念
短編集 森村誠一／著

児童書

- ・イニエスタ オールドフィールド／作
- ・車夫 3雨晴れ いたうみく／作
- ・岩合光昭の日本犬図鑑 岩合光昭／文・写真
- ・きっちり・しとーるさん おのりえん／作
- ・忍者の迷路 戦国時代を大冒険！
香川元太郎／作
- ・少年探偵響 5巻 秋木 真／作
- ・やりすぎ恐竜図鑑 なんでもここまで進化した！？
小林快次／監修



実用書

- ・鍋の素 エダジュン／著
- ・脳がよみがえる「水煮缶」レシピ
佐古田三郎／監修 舘野真知子／料理
- ・40歳から気をつけたい「眼の成人病」
坂西良彦／著
- ・やわらかいごちそう 川上文代／著
- ・ナナメの夕暮れ 若林正恭／著
- ・廃校再生ストーリーズ
- ・強がらない 心屋仁之助／著
- ・七〇歳年下の君たちへ 五木寛之／著
- ・フェルメール 植本一子／著

えほん

- ・ねむたいねむたい
やぎゅうげんいちろう／さく
- ・ABC animal with kids はるのまい／絵
- ・のらねこぐんだん おばけのやま
工藤ノリコ／著
- ・れいそうこのおくのおく うえだしげこ／作
- ・パフェをつくろう！ 新井洋行／作
- ・恐竜トリケラトプスとスピノぼうや デルタド
ロメウスとたたかうのまき 黒川みつひろ／作



～図書室からのお知らせ～



- 12月の休館日
23日(日) 天皇誕生日
29日(土)～1月6日(日) 年末年始休館
- 青少年センター図書室開館時間
午前9時～午後5時(月・水・金・土・日)
午前9時～午後7時(火・木)
- 厚南会館図書室
午前9時～午後5時(月～日)
※毎月5日・20日が土・日・祝日の場合は
休館となります。

- 12月の移動図書
・上厚真小学校
7、14日(金)、20日(木)
午前10時10分～10時25分
- ・ともいき荘
21日(金) 午後2時～2時30分(予定)
- おはなしのびっ子 クリスマス会
場所：青少年センター 絵本コーナー
13日(木) 午前10時30分～11時00分

☆放課後子ども教室☆

赤や黄色の落ち葉が足元を彩り、間もなく初雪の便りも届くころですが、今年は北風よりも太陽の方が元気で暖かい日が多く、11月に入っても半袖で走り回る子どもたちがたくさんいました。季節の変わり目に風邪をひかないか心配しながらも、子どもたちのパワーに元気もらっています。

9月6日に発生した北海道胆振東部地震により影響を受けた、通常教室（平日の活動）の再開を前に、今年度2回目の特別教室『あつまっ子ふるさと体験教室』を11月3日（土・祝）に開催しました。テーマは厚真の秋の収穫祭。厚真でとれた新米を羽釜で炊き、厚真産のジャガイモ、豚肉、まちなか交流館しゃべーの木綿豆腐、おふくろ味噌を使った豚汁を作りました。買い出しから調理まで、スタッフの手を借りながら子どもたちが作ったお昼ご飯。みんなで食べるとより美味しく感じます。午後からは残ったお米でおやつ作りです。炊いたお米を少しつぶしてお団子を作り、平たく伸ばして味噌をつけて焼いて五平餅を作りました。このおやつは、みんなで食べるだけではなく、災害ボランティアセンターにも差し入れに行くことにしました。今、地震からの復興に向けて、厚真町には様々な支援が届いています。ボランティアで厚真を訪れてくれた方々へ、みんなで作ったおやつとともに、感謝の気持ちを一緒に届けたいと思いました。また、ボランティアの方々と交流することで、たくさんの方が自分たちの暮らす町を支えているということ子どもたちに知ってほしいと思いました。これから先、困難なことが目の前にある人たちに会ったとき、ここで受け取った勇気や優しさを返せる人になってほしいと願っています。



特別教室に続き、11月は土日を活用し、日ごろ、平日の活動や特別教室で実施しているプログラムをアレンジした『放課後子ども教室スペシャル』を実施しています。1回目は10日（土）に開催し、キノコと野菜の天ぷらとリンゴを使ったおやつ作りをしました。天ぷらにしたキノコは、町内の農家さんからいただいたシイタケを使い、カボチャ、サツマイモの天ぷらと合わせて、うどん風に仕立てた米粉麺と一緒にいただきます。リンゴのおやつは、バターと砂糖で炒め煮たリンゴを春巻きの皮で包み揚げた簡単アップルパイを作りました。自由時間では、毎週土曜日に教育委員会が開催している「週末こどもひろば」の中でハンモックや薪割り、スラックラインなどでたくさん遊び、あっという間に時間が過ぎていきます。子どもたちのにぎやかな声が響く心地よいひと時となりました。

